

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第86回）に係る面談（検討会后）
2. 日時：令和2年12月14日（月） 13時30分～14時09分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、宇野課長補佐

高松専門職、横山係長、田上係長、久川係員

南山地域原子力規制総括調整官（福島担当）

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 担当4名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 原子力規制庁と東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）は、前回（第86回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）における指摘事項について認識を共有し、原子力規制庁は以下のとおりコメントした。
- ✓ 組織改編後の評価について、現場での意見はどのようなものがあり、その意見がどのようにして現場に反映されたかがわかるような評価を示すとともに、直近で発生した検査指摘事項等の共通要因分析も踏まえての評価を行うこと。
  - ✓ 「社長回答書（7項目）」の実施計画への反映については、12月21日（月）に予定している原子力規制委員会と東京電力経営層との意見交換を踏まえて方針等を検討し、その内容について可能であれば次回の検討会で示すこと。
  - ✓ 3号機使用済燃料取り出しについては、クレーン主巻復旧後は年度内の取り出し完了に向けて作業時間の拡大を行うとしているが、変更後の作業工程について確認することとしたい。
  - ✓ 1～4号機周辺防護区域及び装備交換所等の設置による混雑に対する対応策の検討状況については面談等において確認することとしたい。
- また、東京電力より2020年度内の検討会において説明を予定しているリスク低減目標マップ関連項目に係る議題について、以下のとおり説明があった。
- ✓ 2号機使用済燃料取り出しに向けた検討状況については、年内に申請を予定している実施計画変更認可申請の内容について説明することが可能。また、遮へい設計に関する考え方については、現在実施しているオペレーティングフロアの線量調査を踏まえて検討することとしたい。
  - ✓ 多核種除去設備スラリー安定化処理については、年内もしくは年明けに実施計画変更認可申請を予定しており、設備の安全設計の考え方等申請の内容について説

明することが可能。

- ✓ ゼオライト土嚢処理に向けた取り組みについては、対策案やスケジュール等の検討状況について説明したい。
- ✓ 1号機原子炉建屋大型カバー設置に向けた取り組みについては、2021年2月に実施計画変更認可申請を予定しており、その内容を踏まえて説明したい。
- ✓ 1/2号機 SGTS 配管撤去に向けた取り組みについては、2021年2月に実施計画変更認可申請を予定しており、その内容を踏まえて説明したい。
- ✓ 地震・津波対策の進捗状況については、対策後の津波に対する滞留水インベントリ流出評価における解析結果について、次回検討会にて説明することが可能。

○原子力規制庁は、以下のとおりコメントした。

- ✓ 除染装置スラッジの移送その他リスク低減目標マップに掲げる目標の進捗状況については、課題等を含めてまずは面談にて示すこと。

## 6. 資料

- なし